

総合学習センター ふるさと館からのおしらせ

ふるさと歴史探検シリーズ

第1回 参加者募集！
太古の遺跡で土器を拾おう

大昔、飯山に暮らしていた人々が使っていた土器のかけらを採集して、大昔の人たちの生活を探ってみましょう。

■日時 平成19年4月21日(土)
午前8時30分～午後3時

■集合 総合学習センター ふるさと館

■講師 高橋 桂 先生

■持ち物 筆記用具、昼食、飲み物、雨具

■定員 30名

■対象 小学生から一般のかた

■申込み 4月15日までにふるさと館へ

※第2回 飯山の遺跡と古墳めぐりは5月12日に開催予定です(後日参加者募集)

春の企画展

「飯山の峠 - 歴史と文化が眠る道 -」

信濃と越後を結ぶ飯山の峠道は、交通の要所として盛んに利用されていました。戦国時代には上杉謙信が軍用路として利用していた道もあります。

数ある峠の中から富倉峠や関田峠を中心に、飯山の人々にとっての生活や文化の入り口であった峠道を概観します。

■期日 平成19年4月24日(火)～6月24日(日)

■場所 総合学習センター ふるさと館

■休館日 5月1・7・14・21・28日
6月4・11・18日

ふるさと館友の会 会員募集

ふるさと館友の会では、飯山の歴史風土や文化財を学び、守る活動を行うため、専門家による講演会や、他市町村歴史館の視察などの他、個人の目的にあった研究及び学習が充実するよう支援しています。

ふるさと飯山の歴史・自然・文化に興味のある方ならどなたでもご入会いただけます。一緒にふるさとについて学びましょう！

年会費： 2千円

特典：
・ふるさと館入館無料
・ふるさと館主催の行事参加料無料
・会誌「奥信濃文化」年2回配布
・ふるさと館情報を随時お知らせします。

詳しくは、飯山市ふるさと館まで

市民学芸員を募集します

ふるさと館では、ふるさと飯山の自然・歴史・文化など、様々な分野で腕に覚えのある方を「市民学芸員」に認定し、お互いに学習及び交流を深めるとともに、市民の皆さんや小中学生を対象とした、ふるさと学習の講座等を開催する際の講師や指導をお願いしています。

例えば、郷土史、動植物、伝統芸能、郷土料理、そしてわら細工などの伝統技術などなど、ふるさと飯山に関する「その道の達人」を募集しています。

自薦・他薦は問いません。氏名・連絡先・達人分野をご連絡頂いた方を「市民学芸員」に認定し、認定証を交付します。ふるさと学習の推進にご協力ください！

詳しくは、飯山市ふるさと館(67-2030)までお気軽にお問い合わせください。



- 寄贈資料一覧**
12月～2月
- ◇匿名様 様 6点
 - ◇関口 信男 様 様 様
 - ◇謄写版印刷機セット
 - ◇木村 一夫 様
 - ◇まぶし織機、牛馬荷鞍具
 - ◇飯山小学校 様
 - ◇古教材用具8点
 - ◇佐藤 一行・富夫 様
 - ◇木製看板2点
 - ◇小林 明美 様
 - ◇ひな人形
 - ◇岸田 利夫 様
 - ◇とうもろこし脱粒機、天神様掛け軸2点
 - ◇清水 金一郎 様
 - ◇鉄砲玉(飯山戦争時のもの)、雁爪 各2点
 - ◇高柳 幸雄 様
 - ◇紙幣
- ※貴重なふるさと資料として保存・活用を図ります。

シリーズ 飯山を語る No.4

「雪」

なべくら高原森の家 支配人 水野 香苗子

初めて飯山を訪れたのは2001年の3月。猛吹雪の日でした。友人に誘われて今まで知らなかった(ごめんなさい!)飯山へ、雪あそびをするためにやってきました。長野から飯山線に乗り換えおしゃべりに夢中になつていられる中、ふと車窓から外に目をやると雄大な河の流れと雪をかぶった白い山。心落ち着く風景だなぁと漠然と思ったことを記憶しています。

雪の中突如目の前にあらわれた森の家に驚き、クロスカントリースキーでどこかコースを行つたかは覚えていませんが、電線をまたいでことだけは強烈に覚えていきます。

雪にすっぽりと包まれた二日間を過ごし、その後の風景を見てみたいと1ヶ月後、再び飯山にやってきました。

雪がしまつてきた3月下旬から4月上旬に、関田山脈の牧峠までかじぎを歩いて出かけ、峠でお弁当を食べ、下りは肥料袋をつかっでおしりで滑つてくるという森の家の恒例人気企画「牧峠かじぎ&ケツゾリツアー」にお客様として参加したのです。峠に着くと360度の大パノラマ。すでに雪が無い上越の町や日本海が見える新潟側、振り返って長野側には白い飯山の町がきらきらと輝いて見えました。この決して高くはない山を境に大きく変化する気候を目の当たりにし、飯

雪にはつらい思い出も多しと聞いています。しかしこの冬のような寡雪ですとそれはそれで感ぜずにはいられません。「雪」がきっかけだった私と飯山の出会いも6年経ち、春には終えることになりました。

雪に育まれた四季折々の美しい景観、歴史・文化の香り高い飯山を、常に心に感じていたいと思つています。

山には雪がなくてはならないことを強く感じました。

△降雪前のこんな風景も飯山ならではの…です

東小学校の児童が昔の道具を体験

東小学校の3年生と4年生が、それぞれふるさと館見学とともに、昔の生活道具体験をしました。

今回は石臼で大豆をひいてきなこ作ったり、洗濯板を使つての洗濯を体験しました。

児童にとっては石臼も洗濯板も初めての体験であつたようで、楽しみながら体験をしていましたが、現代と違って、冷たい水での手洗いの大変さを痛感していました。

また2月17日には、常盤地区の、嶋田とく子さん、中沢光枝さんを講師にお願いし、やしうま作り教室を開催しました。食べたことはあつても作るのとは始めて、とあつて、熱さと戦いながら生地をこねていました。両日とも、ふるさとを学習する良い機会となりました。

△子ども達に指導する久保田さん

①初めて使う洗濯板

②力いっぱい石臼をまわします